

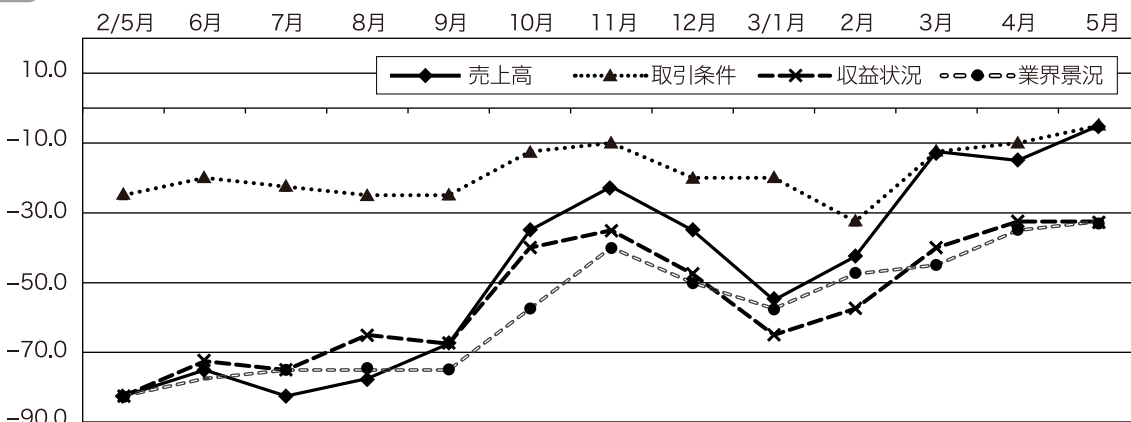


# 業界の今

情報連絡員報告より  
5月の業界の動き

## ◆ 令和3年5月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値  
業界の景気動向(前年同月比)



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-5.0	10.0
取引条件	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	-5.0	5.0
収益状況	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	-32.5	0.0
業界景況	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	-32.5	2.5

**概要** 令和3年5月の前年同月比DI値の推移は、「収益状況」及び「業界景況」は-32.5ポイント、「売上高」及び「取引条件」は-5.0ポイントとなっており、悪化状況は継続している。令和3年4月20日に「まんえん防止等重点措置」が発出されたことにより、旅館業を始め観光関連産業の景況は悪く、新型コロナワクチンの接種の推進と、引き続き補助金や金融支援策等の切れ目のない経済対策が必要である。

### 情報連絡一覽票 (三重県中小企業団体中央会・令和3年5月分)

コロナ感染症拡大の影響が大きくイベント警備が減少、雨天のため工事等の中止が多く売上が減少となった。(警備)		
集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物 原料用野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足となり、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等での土産物の販売及び外食産業での需要が大きく減少している。
	紙・紙加工品	古紙 5月の仕入れ量は：段ボール・約97±5%、新聞、チラシ・約105±12%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約89±7%である。古紙の発生で段ボールは先月と変わらず前年比で微減、新聞チラシは、前年の集団回収中止から再開もあり前年比プラスの所も見受けられる。雑誌・雑がみは、昨年のGO TOトラベル中止により5月長期休暇以降に大幅な増加を示した結果、本年は大幅に前年比マイナスとなった所も見受けられる。古着も例年比・約140%程の集荷であったので雑誌・ざつ紙と同様である。円安とアジア圏の原材料不足で資源物全般の輸出価格が値上がりし国内価格を上回っている様である。国内製紙会社は、生産量は減っているところが多く、例年のメンテナンスがありながらも古紙の購入量を例年並みに戻したところもある。古紙の持ち行きは無くならないが古紙業界で法制化の動きがある。ゴミの不法投棄等も前年並みとなった。
	電気機器	鳥羽 受発注の激減(約40%ダウン)で非常に厳しい。また、使用材料(鉄鋼SUS)の品不足から仕入価格が25~30%上昇し、状況は非常に悪い。
非製造業	小売業	石油 今年の桜の開花は例年になく早い開花となった。例年は人が動き車も動く時期だが、コロナ禍の中では公園等にはロープが張られ花見を楽しむ雰囲気ではなく、車が動かないためガソリン等の消費が落ちた。県内のSS経営者に売れ行きを聞くと、2~3割は落ちている。伊勢、鳥羽のSS経営者の話では、当地域のホテル旅館を利用する修学旅行全てにキャンセルが出ており、個人客も集まらない。当たり前の話であるが、人の動きと燃料は比例している。ゴールデンウィークも人も車も動かない連休となった。三重県のコロナ感染者数も増えているが、一日でも早く、国民に新型コロナワクチンが接種され、安心した生活の中で消費が進むことを期待する。
	サービス業	警備 前年度よりコロナ感染症拡大の影響が大きく、イベント警備はほとんどなく、また今年は梅雨入りが早く、雨天のため工事等の中止が多く、売上が減少となった。
	建設業	水道工事業(亀山) 衛生資材の納期が物によっては3ヶ月待ちの物も出てきている。施主が資材業者との打合せを密にして、代用品での仮施工等の対応が必要となっている。